



淀川河川敷のにぎわいに関するワークショップ 開催報告

開催日時：令和7年9月24日（水）
午後7時～9時

開催場所：ゆうゆうホール鳥飼西
参加者数：8名

今回のワークショップでは、これまでの議論や実際にイベントを実施してみた結果を踏まえて改めて議論を行い、今後の整備に向けた取組方針の具体化を図りました。

当日は、30代～70代の8名が参加いただき、活発な意見が飛び交いました。



参加者の感想（一部抜粋）



今日話し合った内容が反映されることを願っています。グラフィックレコーディングが良かったです。もっとやってください。



今後は、1つ1つ有言実行できるワークショップにしたい。話だけではなく、目で見えるカタチで実行していきたい。

活発な意見交換ができてよかった。



防災ステーションの在り方を市民目線で具現化していきたい。



同じ人たちだけで進めず、新しいメンバーを取り込むべき。

本日のアイデアはできること・できないことの整理が必要。河川敷周辺の見学会を行い問題・課題の共有をしたい。

淀川河川敷のにぎわいに関するワークショップとは？

居住性向上2-Aエリアを対象とした「鳥飼まちづくりグランドデザインワークショップ」を踏まえて「鳥飼ワン！ぱ～く万博」が実現しました。他にも淀川河川敷では鳥飼ワンドの再整備や外来種駆除、「淀川わいわいガヤガヤ祭」など様々な整備・活動が実施されています。

それぞれを単発の成功体験に留めることなく、魅力ある河川敷づくりを推進するために、継続的に議論する場として開催します。また、議論した内容は今後の方策へ反映し、皆様と協働しながら1つずつ確実に実行していくことを目指します。

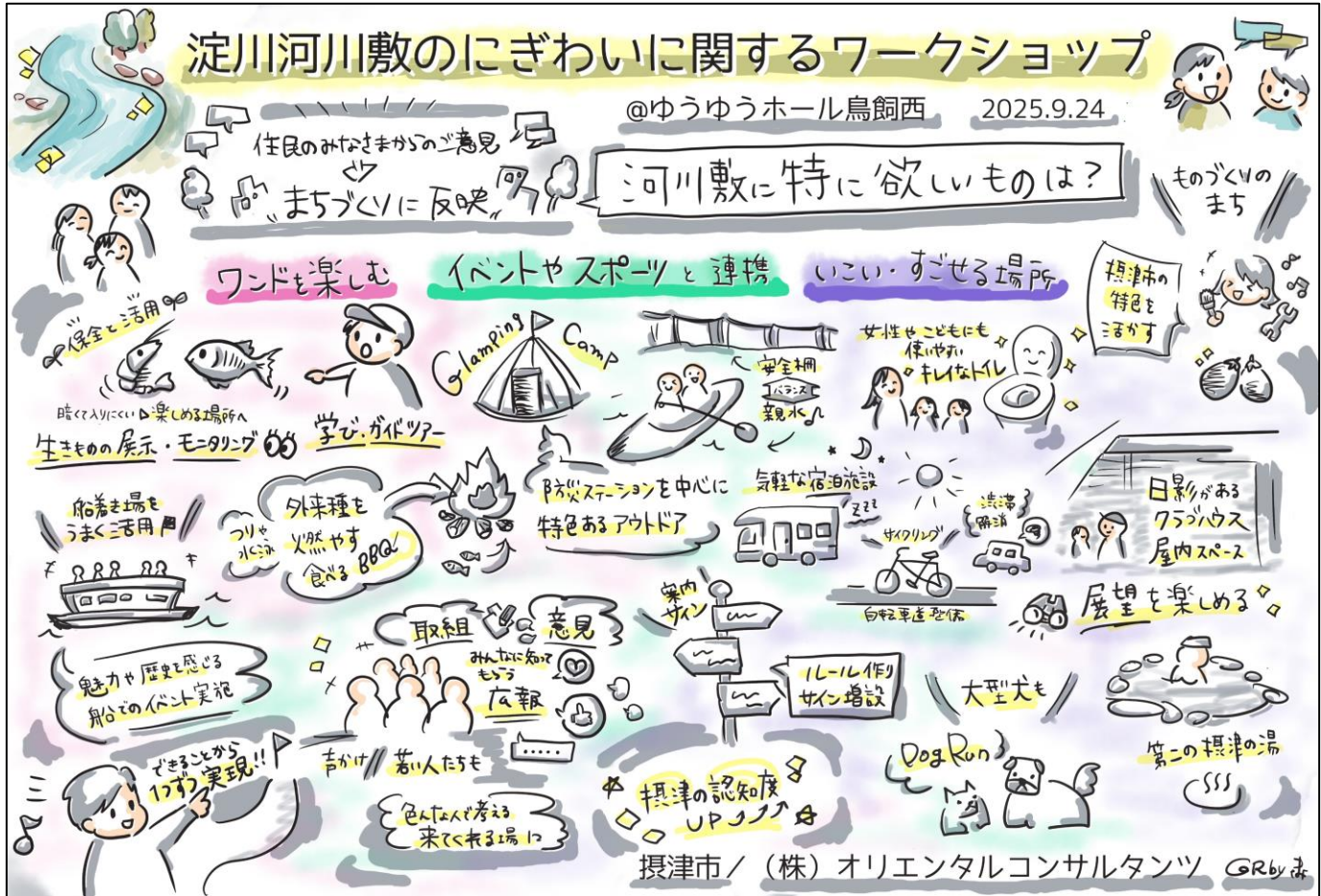
今回の内容

淀川河川敷をより魅力あるものにしていくためにはどのような機能があったら良いかをテーマに、過去に挙げた意見の他に新しい意見の有無／イベントを実施してみて分かったこと／鳥飼ワンドの再整備が進んだうでのあり方／他の事例も参考に等、様々な観点から議論しました。挙げた意見は「河川敷のどこで」「いつ・誰が・どのように使う」「何が必要」など、具体的な情景を深掘りし、特に重要な意見を発表して頂きました。

討議や発表の内容は「グラフィックレコーディング(※)」として視覚的にまとめました。

※グラフィックレコーディングとは・・・

会議やイベントの内容をイラストや図、文字などを使ってリアルタイムに視覚化する手法。



ワークショップの結果を踏まえて

「水辺環境の保全と活用」「摂津市の特色を活かす」「安全と親水のバランス」「利便性・わかりやすさ」「認知度・PR」「今あるものを活用」「周辺施設との連携」等のキーワードをはじめ、過去に挙げた意見の重要性を再確認できました。

これまでの意見が実現に向かっていくという実感を持てるよう、できることから1つずつ実行していきたいと考えております。引き続き市民の皆様と意見を交換する場と、広報・情報共有を大切にしながら、今回出た意見を市で整理し、今後進めるべき取組みの内容やその方法（どのような体制・スケジュールで進めるか等）を検討していきます。

